

事務事業評価調書

事務事業名	吹田操車場跡地整備事業				
担当部名	健康医療部	室課名	北大阪健康医療都市推進室	室課長名	清水 康司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	18	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	吹田貨物ターミナル(仮称)建設事業着手合意協定書、土地区画整理法、吹田操車場跡地土地(仮称)の整備に						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 6	安全で魅力的なまちづくり	節 2	細節 15			
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等 北大阪健康医療都市				
		目標(どういう状態にしたいのか)	健康・医療のまちづくりを推進するため、都市基盤を整備する					
		結果(どのような効果が得られるのか)	北大阪健康医療都市における国際級の複合医療産業拠点の形成を実現する					
(7)	事業概要	北大阪健康医療都市を新たな都市拠点とするため、まちの骨格となる道路や公園、ライフライン等を整備するとともに、健康・医療のまちづくり基本方針等に基づき、北大阪健康医療都市における国際級の複合医療産業拠点の形成を図るため、イノベーションパークにおいて医療クラスターの形成を目指す。						
(8)	H27事業別予算コード	会計 1	款 8	項 5	目 11	大事業 1	中事業 1	小事業 1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		311,282	355,477	318,021	259,587	1,639,017
		人件費	職員数 人	6.00	7.00	7.00	7.00	7.80
			総額(B) 千円	49,800	55,629	58,464	58,464	63,726
		総事業費(A+B)		361,082	411,106	376,485	318,051	1,702,743
		特定財源(C)		118,200	199,220	82,000	118,900	100,000
		(内訳)	国	99,000	154,900	82,000	108,500	100,000
			府	0	0	0	0	0
			その他	19,200	44,320	0	10,400	0
		市負担(D)		242,882	211,886	294,485	199,151	1,602,743
		(内訳)	地方債	71,700	31,500	73,800	88,300	90,000
その他	120,000		103,666	160,000	40,000	470,000		
一般財源	51,182		76,720	60,685	70,851	1,042,743		
財源計(C+D)		361,082	411,106	376,485	318,051	1,702,743		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	補助金執行率	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	100.00	
			実績値	(単位:%)	93.50	100.00		
			達成度(%)		93.5	100.0		
	目標値の積算方法	交付決定額の推移により算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5,726.74	3,180.51	
				一般財源(単位:千円)		2,970.37	708.51	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		土地区画整理事業の進捗率を事業費ベースにより算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	土地区画整理事業の進捗率	目標値	(単位:%)	95.40	100.00	100.00
	実績値			(単位:%)	95.40	100.00		
	達成度(%)			100.0	100.0			
	目標値の積算方法	土地区画整理事業の進捗率を事業費ベースにより算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5,612.68	3,180.51	
				一般財源(単位:千円)		2,911.22	708.51	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		土地区画整理事業の進捗率を事業費ベースにより算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		平成28年3月に土地区画整理事業が完了し、市民の憩いとなる公園やまちの骨格となる道路が供用開始され利便性が向上した。 平成28年度も引き続き医療クラスターの形成を目指し、都市基盤の整備を行う。						

事務事業分析シート

所属名	北大阪健康医療都市推進室	事業名	吹田操車場跡地整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00689				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	北大阪健康医療都市推進室	事務事業番号	00689
-----	--------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays scores for five evaluation dimensions. The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性 (Justification) at 18, 有効性 (Effectiveness) at 15, 効率性 (Efficiency) at 12, 公平性 (Fairness) at 8, and 持続可能性 (Sustainability) at 10.</p>		
(3)現状分析	<p>吹田操車場跡地土地区画整理事業は、大阪府をはじめ関係6者により、「吹田操車場跡地地区(仮称)の整備に関する基本協定書」を締結し、平成21年度に国土交通大臣より認可を得て事業に着手し、平成28年3月に換地処分を行い概ね事業が完了したところ。</p> <p>事業完了に伴い、市民の憩いの場となる公園や道路が供用開始されたことにより周辺市民の利便性等が飛躍的に向上した。</p> <p>なお、事業実施にあたっては、国土交通省が費用便益分析による新規採択事業評価を実施し、適正な費用対効果が確認されたうえで事業認可を得ている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年度から事業名称を北大阪健康医療都市整備事業に名称変更

事務事業評価調書

事務事業名	医療クラスター整備事業				
担当部名	健康医療部	室課名	北大阪健康医療都市推進室	室課長名	清水 康司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	25		改正内容	なし										
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	国立循環器病研究センター、摂津市、UR都市機構との基本協定書、国立循環器病研究センターとの基本協定書													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	15							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	北大阪健康医療都市												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	持続可能な健康・医療のまちづくりの推進												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	北大阪健康医療都市における国際級の複合医療産業拠点の形成を実現する												
		健康・医療のまちづくり基本方針等に基づき北大阪健康医療都市における国際級の複合医療産業拠点の形成を図るため、イノベーションパークにおいて医療クラスターの一翼を担う事業者を募集する。また、持続可能な健康・医療のまちを目指した施策を展開する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	11	大事業	1	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		97,900	20,914	262,126	210,952	18,205							
		人件費	職員数	人	3.00	3.00	6.00	6.00	7.00						
			総額(B)	千円	24,900	23,841	50,112	50,112	57,190						
		総事業費(A+B)		122,800	44,755	312,238	261,064	75,395							
		特定財源(C)		30,500	2,000	1,500	0	0							
		(内訳)	国	30,500	2,000	1,500	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		92,300	42,755	310,738	261,064	75,395							
		(内訳)	地方債	0	0	1,300	0	0							
			その他	50,000	0	50,000	0	0							
一般財源	42,300		42,755	259,438	261,064	75,395									
財源計(C+D)		122,800	44,755	312,238	261,064	75,395									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	健都イノベーションパークに進出する事業者の誘致を進める			目標	国際級の複合医療産業拠点の形成を図る
	②	成果内容	医療クラスター形成の一翼を担う事業者が進出する			達成状況	医療クラスターを形成し、周辺地域の発展はもとより、市全体の発展につなげる
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		国立循環器病研究センター及び吹田市民病院を中心とした国際級の複合医療産業拠点の形成を図るため、イノベーションパークの活用に必要な用地測量や千里丘44号線道路拡幅工事等を実施した。 平成28年度は医療クラスターの一翼を担う事業者の募集を行うとともに、持続可能な健康・医療のまちの実現を図るため、エリアマネジメント組織の設立に向けた取り組みを実施する。				

事務事業分析シート

所属名	北大阪健康医療都市推進室	事業名	医療クラスター整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00692				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	北大阪健康医療都市推進室	事務事業番号	00692
-----	--------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	8	公平性	12	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	8														
公平性	12														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>医療クラスター整備事業は当地に移転建替が決定している国立循環器病研究センターと市民病院を中心として医療機関と医療関係企業等が集積した医療クラスターの形成を目指している。 平成28年度に医療関係企業等の集積を目指すイノベーションパーク(正雀処理場跡地)への進出事業者の募集を開始する予定であることから、平成27年度からイノベーションパークの都市基盤整備等を行っているところ。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年度から事業名称を北大阪健康医療都市推進事業に名称変更

事務事業評価調書

事務事業名	おおさか・すいたハウス移転支援事業				
担当部名	健康医療部	室課名	北大阪健康医療都市推進室	室課長名	清水 康司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	27	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	なし							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 6	安全で魅力的なまちづくり	節 2	細節 15				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	北大阪健康医療都市						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	おおさか・すいたハウス移転の支援						
		結果 (どのような効果が得られるのか)	北大阪健康医療都市へのおおさか・すいたハウスの移転						
(7)	事業概要	<p>国立循環器病研究センターの北大阪健康医療都市への移転に伴い、おおさか・すいたハウスも移転する必要が生じています。この施設は同センターに入院する小児患者の家族の滞在施設として開設され、患者家族にとってなくてはならない施設となっていることから「おおさか・すいたハウス」の移転を支援するため、広く寄附を募るもの。(目標金額2億円、ふるさと納税制度を活用することが可能)</p>							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	669	669	2,041	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20
			総額(B)	千円	0	0	0	0	1,634
		総事業費(A+B)		0	0	669	669	3,675	
		特定財源(C)		0	0	2	2	8	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	2	2	8
		市負担(D)		0	0	667	667	2,033	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	667	667	2,033		
財源計(C+D)		0	0	669	669	2,041			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	市報すいたやホームページ、また、マスコミへの記事提供等の広報活動により広く市民の方々へ寄附を依頼		目標	寄附総額2億円	
	②	成果内容	おおさか・すいたハウスの移転		達成状況	おおさか・すいたハウスの北大阪健康医療都市への移転	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>国立循環器病研究センターに入院する小児患者の家族の滞在施設として開設された「おおさか・すいたハウス」は、ボランティアで運営されている施設であるため、自身での移転費用の捻出は困難となっている。しかし患者やその家族にとってはなくてはならない施設であることから、移転に必要な費用については広く寄附を募ることとした。</p> <p>平成28年4月末現在の募金総額は約200万円となっている。</p>				

事務事業分析シート

所属名	北大阪健康医療都市推進室	事業名	おおさか・すいたハウス移転支援事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	1497				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	北大阪健康医療都市推進室	事務事業番号	1497
-----	--------------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>おおさか・すいたハウスの移転については、吹田市の積極的な支援が必要であることから、移転費用にあてるため、「おおさか・すいたハウス支援基金」を設立し、ふるさと納税制度を活用した寄附を募っている。平成27年度から吹田市の市報やホームページ、各メディアへの情報提供などにより、寄附の呼びかけを広く行っている。</p> <p>平成28年度は募金委員会を設立し、経済界、医療関係者などに対して一層積極的に寄附を呼びかけ、平成29年度内での目標募金額を目指している。</p> <p>なお、国立循環器病研究センターには新たな移転先の確保をお願いしているところ。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)